

テーマ：『 生き生きと考え自然事象を見つめ、科学的に考え、表現する生活科・理科学習 』

福岡県福岡市立

若久小学校

Tel.

092-541-4210

担当者：

川副 昌徳



■実践内容:

「科学する心と力」を身に付けてほしい。これが若久小学校の子どもたちに願いです。現代は情報化社会です。情報が氾濫しています。身の回りにある様々な情報の中から自分で確かめ判断し、新しい時代を生き抜く力を身に付けてほしいのです。そのために、自然の事物や現象、社会の事物や現象を、直接自分自身で科学的にとらえ、冷静に情報を取り出し、自分の進むべき方向を選択してほしいのです。

■実践成果:

夏休みの課題として、一人一つ自由研究に挑戦することになっています。体育館には、工夫をこらした研究がたくさん揃いました。アイデアいっぱいの作品に、どの子ども目も輝かせながら見入っています。「わーっ、この研究すごいなー」「来年は、自分もやってみよう」と、先輩の研究に歓声があがります。作品のテーマや研究のまとめ方がとても参考になるものもたくさんあります。きっとご家庭でもたくさんアドバイスをもらったことでしょう。参観日にこられた保護者のみなさんも真剣に見られていました。子どもたちの中に「科学する心と力」が少しずつ育ってきていると実感しています。

■実践ポイント:

感動体験を持つことは、科学への興味・関心を高めるためには必要なことです。そのためには、環境面・内容面からの働きかけが必要です。学校中が生活科や理科へ関心を高める掲示物やミニ実験コーナーであふれています。その中でも「サイエンスワールド」はたくさんの楽しい実験であふれています。委員会活動では、理科専科教員に指導を受けながら、低学年に実験の仕方を説明する高学年児童の姿がみられます。内容面では、生活科・理科のカリキュラムに楽しい内容を計画しています。特に、5年生の自然教室では、観察会などで自然と触れ合う活動をたくさん取り入れています。